

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立花尾小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	6学年 3学級 80名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (○) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	「ボッチャ」のゲームを通して、チームワークの大切さを学ぶとともに、相互を尊重し、勝敗を楽しむようにする。
5 取組内容	 <p>体育の学習時間を使い、6年生が各学級ごとに「ボッチャ」のゲームに取り組んだ。学級での生活班を基準に作ったチームによる対抗戦を行い、対戦チームを変えながらのゲームを行った。</p>
6 主な成果	<p>実践時期が1学期末だったことで、タイミングよく東京パラリンピックについての報道があり、そもそも「ボッチャ」というスポーツについて児童が関心をもっていた。</p> <p>実際に「ボッチャ」に取り組んでみて、単に運動能力の高さによって勝敗が左右されないこと、チーム戦のため作戦立案にあたっては言葉によるやり取りが多く行われたこと、などの理由で、児童は熱心に取り組んでいた。普段、運動が苦手な児童が活躍する場面がよく見られ、いつもの体育科学習とは違う学びの姿が良く見られた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	特になし
8 主な課題等	ボッチャのセットがあと2セットほしいので、来年度に購入を検討する。
9 来年度以降の実施予定	来年度もパラスポーツに取り組む予定である。